

兵庫県弁護士会の活動

EVENT

タイ王国・釜山地方弁護士会との交流会

2025年8月／10月

8月29日（金）にタイ王国裁判官ら24名が当会館に視察に訪れました。当会から、日本における弁護士会と弁護士の役割等について発表と質疑応答を行いました。また10月17日（金）～18日（土）には、釜山地方弁護士会との交流会のため、釜山を訪問しました。釜山地方弁護士会との交流は、今回で9回目となります。当会からは18名の弁護士が参加しました。当日は裁判傍聴及び裁判官との意見交換会を行い、その後、釜山地方弁護士会と公益通報者保護制度をテーマに意見交換会を行いました。今後も継続して交流を深めていく予定です。



EVENT

こころの健康フォーラム

2025年9月13日

9月13日（土）、姫路市保健所と共催で、講師に山口達也氏をお招きし、飲酒とアルコール依存の関連性についてお話をいただきました。依存症について実体験を交えてお話をいただき、依存症について理解が深まる機会となりました。また、当日、弁護士会の広報活動も行いましたが、弁護士会について参加者から「身近に感じられて良かった」等の感想もいただくことができ、講演を通じて少しでも身近に感じてもらえる機会となりました。



EVENT

谷間世代への基金創設実現のための全国リレー市民集会in近畿

2025年10月25日

10月25日（土）に「谷間世代への基金創設実現のための全国リレー市民集会in近畿」が兵庫県弁護士会館で行われました。弁護士芸人によるネタで盛り上がり、谷間世代弁護士の充実した活動報告を聴き、国会議員の先生方から熱い応援メッセージをいただきました。谷間世代への基金創設実現のため、全国で行われてきたリレー集会のアンカーとして、良いバトンパスができました。



EVENT

映画「Winny」上映会 ～全事件での取調べ可視化を考える～

2025年10月31日

兵庫県弁護士会及び同阪神支部主催・日本弁護士連合会共催による映画上映会を開催し、一般市民を含む54名の方にご参加いただきました。上映後は、Winny事件の主任弁護人であり、これまで約30件の無罪判決を獲得している秋田真志弁護士（大阪弁護士会）に登壇いただき、映画の解説や取調べの問題点等についてトークセッション形式でお話を伺いました。事件の裏話がたくさん飛び出し、また反対尋問の神髄のお話もあり、大盛況のうちに終えることができました。



EVENT

1月

姫路支部 市民法律講座

姫路支部では市民の方に法律を身近に知っていただくべく、年に6回市民法律講座を実施しております。2026年1月17日（土）、姫路支部の中澤広明会員による「交通事故～事例から学ぶ賠償額の計算方法～」が実施されます。突然、交通事故に巻き込まれ、加害者から賠償提示を受ける際に、その金額が妥当か否かを判断することができず、困ることもあるかもしれません。そこで、上記講座では、交通事故における賠償額の計算方法を、事例を基にして説明させていただきます。ホームページにてご確認の上お気軽にお越しください。



EVENT

1月

死刑制度を考える（第8回） ～日本における死刑制度のゆくえ～

2026年1月24日（土）午後1時30分～、兵庫県立のじぎく会館大ホール、入場無料
今回は、欧州における死刑制度廃止に至る歴史をふりかえり、「日本の死刑制度について考える懇話会」委員の金高雅仁氏（元警察庁長官）や中本和洋氏（元日弁連会長）、山口那津男氏（公明党常任顧問）ほかを交えて、日本における死刑制度のゆくえについて考えます。詳細については兵庫県弁護士会ホームページをご覧ください。

YouTube

兵庫県弁護士会公式チャンネル 動画アーカイブ



プチ法律解説シリーズ⑯

借金で首が回らなくなった時に
自己破産の3つの誤解



プチ法律解説シリーズ⑰

お金がなくても大丈夫!!
国選弁護人はあなたの味方です



プチ法律解説シリーズ⑱

御社の広報戦略は大丈夫？
もう始まっているステマ規制！



プチ法律解説シリーズ⑲

あなたの会社を存続させるために
事業承継のための5つのステップ



プチ法律解説シリーズ⑳

失敗しない遺言作成のポイント
無効になったら元も子もない



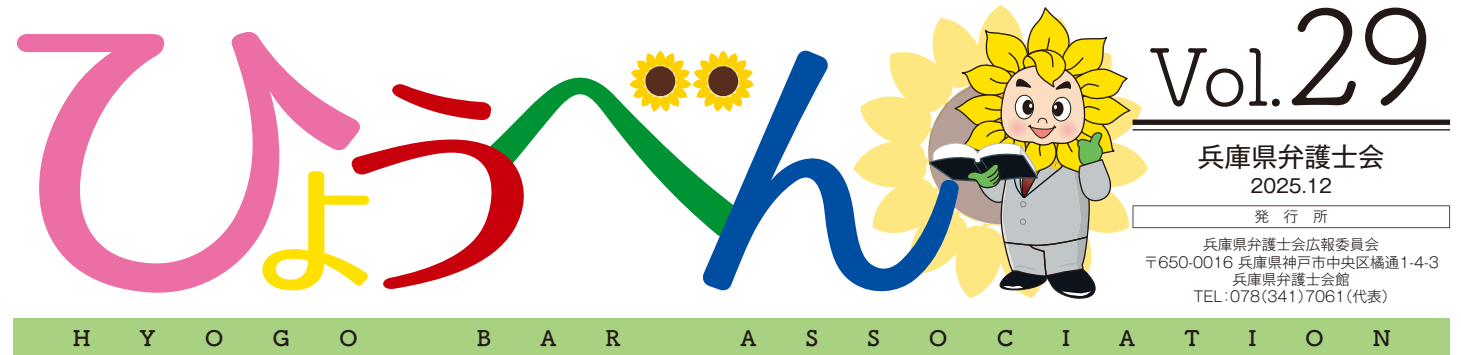
プチ法律解説シリーズ㉑

もしかして「パワハラ？」
大切な「時間外の連絡」のルール作り



プチ法律解説シリーズ㉒

選択的夫婦別姓制度
3つの誤解について解説



国際ロータリークラブ 城ガバナーに聞く 「職業奉仕」を共通理念として、社会貢献を



国際ロータリー第2680地区
2025-26年度ガバナー

城 守 氏

（じょう まもる）
1956年（昭和31年）、兵庫県加古川市生まれ
株式会社昭和フォークリフト代表取締役社長
国際ロータリー第2680地区2025-26年度ガバナー

120年以上の歴史を持ち、地域社会と国際社会への貢献を実践し続ける世界的組織ロータリー。

その活動はどのようなものでしょうか。

国際ロータリーの役員であり、担当地区全体のクラブを指導・支援する

リーダーの役職である「ガバナー」を務める、

姫路ロータリークラブの城守氏にお話を伺いました。

▶ロータリーはどういった組織でしょうか？ロータリーの名称はよく知られていますが、詳しいことを知らない方も多いように思います。

城 ロータリーは1905年アメリカのシカゴで設立された国際的な組織で、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進しており、地域のロータリークラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3本の柱で支えられています。会員は「ロータリアン」と呼ばれ、現在200以上の国と地域に3万6000余のクラブがあり、約115万人の会員がいます（2025年8月22日現在）。日本のクラブ数は2175、会員数は約8万2500人です（2025年7月末現在）。

▶活動内容について教えてください。具体的にどんなことをなさっていますか？

城 活動内容は多岐にわたっていて、ひとことで説明するのは難しいですが、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開き、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしています。特に7つの重点分野として、「平和構築と紛争予防」・「疾病予

防と治療」・「水と衛生」・「母子の健康」・「基本的教育と識字率向上」・「地域社会の経済発展」・「環境」に取り組んでいます。その中で、国際的に最も力を入れているのがポリオ根絶活動です。国際ロータリーとゲイツ財団、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター、Gaviワクチンアライアンスと共に取り組んでいます。35年以上にわたり活動を続けて現在99.9%まで減少させることができました。100%根絶まであと少し、真の根絶に向かって活動を続けています。ポリオがまだ存在する国はアフガニスタンとパキスタンだけですが、その他の国々でもポリオのない状態を維持していく必要があります。これには毎年莫大な資金がかかります。ワクチン代はもちろん、宗教や文化、習慣など地域の実情を知った医療関係者が必要です。これを支えているのがロータリー財団で、ポリオ根絶に限定した多額の寄付がなされています。

▶他にも力を入れている活動はありますか？

城 ロータリー青少年交換プログラムは、ロータリークラブのサポートのもとで、15歳から19歳の学生が1年間海外に滞在し、国際理解と親善の精神を育み、平和を推進するため外国での異文化体験の機会を提供しています。その国の言語や文化を学びな



藤原広報副委員長、武部副委員長、城ガバナー、大原副会長、井上広報委員長

がら、海外に友人を作り世界市民としての自覚を養うことができるプログラムです。ほとんどが高校生で、日本と海外のロータリークラブで互いに派遣して受け入れています。留学を希望する学生は事前に海外に行きたい目的など資料を提出して、現ガバナーと次期ガバナー、地区の青少年交換委員が面接を行い、ご本人の夢や希望、ご家族の理解を確認します。一般的な留学と異なり、親善大使としての使命があることを説明します。英語が必須で渡航前に半年くらい英語のレッスンを受けます。ポーランド、ベルギー、デンマーク、ブラジルなどあまり英語が通じない国にも行っています。皆さん1年間でかなり話せるようになります。

▶若い世代を育てる教育の支援はとても有意義な活動ですね。

城 また、日本独自の奨学金に、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会があります。日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し支援することにより、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てて



います。この奨学金制度が素晴らしいのは金銭のサポートだけでなく、独自のカウンセラー制度と世話クラブによる心の通った支援を実施していることです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。これに全国のロータリークラブが賛同して、これまでに2万4000人を超える外国人学生を支援、年間約950人をサポートしています(2025年7月現在)。国際奨学団体としては、事業規模・採用数とも日本国内で民間最大です。すべて日本のロータリアンの寄付を財源としています。

▶城さんご自身がロータリーに関われたきっかけは何でしょう？

城 私の生活圏はもともと加古川・高砂で、加古川の事業所で仕事をしていたのですが、会社の社長となり姫路に来ることになりました。姫路で交流を広げようと姫路商工会議所青年部などで活動する中で、思いがけず姫路ロータリークラブにお声掛けいただき、2008年3月に入会しました。ロータリーの例会は「人生の道場」と教えられ、途中体調を崩し欠席したこともありますが、毎週の例会には欠かさず出席しました。何がしたいというよりも、ロータリーでいろいろなことを学びたかったのです。地区の委員をして一生懸命学んでいるうちに副委員長、委員長を務めてさせていただくようになり、いつの間にかガバナーという大役を受けることになりました。

▶実際にどんな学びがありましたか？

城 「奉仕」について学びました。今日お話ししたのはロータリーのごく一部の活動ですが、根幹と言われているのが「職業奉仕」で

す。自分の仕事を通して、自分の職能を活かして、社会に役立つ奉仕を行います。私は社長として会社を継続し、社員を雇用していかなければなりません。しかし、よくよく考えてみると、実は社員に養ってもらっている、社員がいないと会社は存続していきませんから。そして社会に求められていない会社も存続できない、社会に対して何ができるのか。職業を通して社会に奉仕することの大切さを学んでいます。

▶参加されて、素晴らしいと感じることは何でしょう？

城 ロータリーの活動は手弁当で何の報酬もなく、それどころか長く在籍している人は相応の寄付をしています。私も当然のことながら寄付を続けています。日本は寄付文化があまり育っていませんが、寄付しながら活動をしている会員が全国に8万人以上もいる、それが素晴らしいと思います。仕事関係ではない、多くの人に会えることも魅力です。人が成長するには沢山の人と接することだと思います。ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨けないように、人も人と接することで磨かれて成長していくのでしょうか。自己成長を望むのであれば、ロータリーに入って自ら活動すれば幾つになっても成長できると思います。私自身、自分がこんなふう

▶弁護士会でも、広報委員会の他に、高齢者や障がい者、労働者、生活困難者、子どものための委員会などがあり、報酬はない奉仕として活動しています。

城 ロータリーの創設者のポール・ハリス氏は弁護士で、ロータリーは法律家と共に歩んできたと言っても良いでしょう。ロータリーでは「手続き要覧」の規定に則って、すべての活動を行っています。これと別に「ロータリー章典」があり、私たちは手続き要覧とロータリー章典を常に確認しながら判断して活動を進めています。法律家の考えがベースになってしっかりした運営をしているのです。

▶ロータリーに参加している弁護士も多いですね。

城 ロータリー会員の職業は、世界でも日本でも法律家の方が多いです。姫路ロータリークラブにもいらっしゃいます。ロータリーの中には危機管理委員会がありますが、弁護士とガバナーの役職をした人たちが中心メンバーです。いろいろな活動をする中で、さまざまな相談を受けています。コロナ禍の行動制限のときもそうでしたが、危機管理には法的視点を大切にしています。ロータリアンの法律家は、皆さん真摯に対応してください。法律家の存在感は大きなものです。

▶マインドの部分で共通するところがありますね。ロータリーの活動や理念を知ることができ、弁護士会の活動の参考になりそうです。ありがとうございます。

(インタビュー日)
2025年9月8日



兵庫県弁護士会イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001

くらしの法律相談

上司や取引先から 2人きりの食事の誘いーセクハラ発展の恐れ、相談を

Q 社員の女性です。上司や取引先から、2人きりでのに食事誘われています。断りたいのですが、断ったら仕事に支障が出そうで怖い。どうしたらいいのでしょうか。

A まずは、勇気をもって断りましょう。理由は、何でもいいです。断れないと考える方も多いのですが、2人きりで食事に行かないとできないような仕事はないはずですし、相手の行動がエスカレートしないようにする予防策としても重要です。

もし、うまく断れない場合は、信頼できる上司や同僚に相談するなどして、3人以上で食事に行くことも一つの方法です。この時は、帰宅するまで、2人きりの場面を作らないように気を付けましょう。

それでもなお、2人での食事に執拗(しつよう)に誘われる時は、セクシュアルハラスメント(セクハラ)に該当する可能性があります。セクハラとは、職場において労働者の意に反する「性的な言動」が行われたことによって、労働者が不利益を受けたり、職場の環境が害されたりすることです。食事やデートへの執拗な誘いは「性的な言動」に当たるとされています。「職場」とは、事業主が雇用する労働者が業務を遂行する場所を指しますが、労働者が通常就業している場所以外でも該当する場合があります。例えば、出張先、取引先の事務所、打合せをするための飲食店などもこれに該当する場合があることから、取引先によるセクハラが「職場」におけるものとされる可能性はあります。

そして、事業主は、職場におけるセクハラを防止するために、相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備をしなければなりません(男女雇用機会均等法)。その一つとして、「相談への対応のための窓口をあらかじめ定め、労働者に周知すること」を責務としています。

そのため、職場で性的な言動を受けて不快に感じた場合、ご自身の被害を拡大させないためにも、一人で抱えこまず、社内外に設置されているハラスメント相談窓口や、弁護士など、周囲に相談することをお勧めします。なお、相談窓口等に相談したことによって、事業主が労働者に不利益な取り扱いをすることは、男女雇用機会均等法で禁止されています。(弁護士 井口奈緒子)

Topics

育児・介護休業法の改正 ～事業主に求められる対応は?～

育児・介護休業法が改正され、本年4月から段階的に施行されています。この改正により、事業主には、従業員が仕事と育児・介護を両立できるよう、様々な対応が義務付けられました。

このうち育児に関するものは、子の看護休暇の見直し、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置及びこの措置の個別の周知・意向確認などです。この措置は、具体的には、事業主が3歳から小学校就学前の子を養育する従業員に関し、①始業時刻等の変更、②テレワーク等(月に10日以上)、③保育施設の設置運営等、④仕事と養育を両立しやすくするための休暇(年に10日以上)、⑤短時間勤務制度のうち、2つ以上を選んで実施するものです。そして、従業員はそこから1つを選択して利用できます。

介護に関するものは、介護休暇を取得できる要件の緩和、介護離職防止のための雇用環境整備(研修の実施、相談窓口の設置などから少なくとも1つを選択)、介護離職防止のための個別周知・意向確認などです。

このように、今回の改正は多岐にわたり、事業主には、就業規則の見直し、個別周知・意向確認書の用意などの具体的な対応が求められます。お困りの際は弁護士までお気軽にご相談ください。



こんなときは兵庫県弁護士会へ

兵庫県弁護士会では、様々な窓口を設け、市民の皆様のご要望にお応えしています。

兵庫県弁護士会

検索

訴えられたとき



裁判等の当事者対象の無料相談

民事・家事事件当番弁護士
078-341-5000

兵庫県弁護士会公式SNS



HIMARIONHYOGO



Himarion_Hyogo

法律相談したい

総合法律センター

神戸
078-341-1717
西播磨
079-286-8222
阪神・伊丹・川西・宝塚
06-4869-7613
北播磨・山崎・南たじま・明石・淡路・丹波
078-351-1233

中小企業相談



売掛金の回収や事業承継など
中小企業にまつわる無料相談窓口

ひまわり中小企業センター
0570-001-240

どの窓口かわからない場合でも
まずは、兵庫県弁護士会まで
お電話ください。

兵庫県弁護士会

兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001

〒650-0016
神戸市中央区橘通1-4-3

TEL:078-341-7061

